

建築用シーラー

アレスダイナミックシーラーマイルド

系 統 ターペン可溶2液形高性能多用途エポキシシーラー

適用規格 JASS 18 M-201 適合品

ホルムアルデヒド放散等級 F☆☆☆☆

特 長

- 1) 特殊無機成分が無機下地と強固に結合し、一般面(有機下地) 含め幅広い素材適性を有します。(無機塗装系にも対応可能)
- 2) 窯業サイディング、無機系素材、プラスチック系素材、 各種旧塗膜との付着性に優れます。
- 3) 新生瓦などの脆弱層に深く浸透し、下地を強化します。
- 4) 高い浸透性を持ちながら素材表面に均一な膜を形成するため、 上塗塗料の仕上りが向上します。

塗装条件

塗装方法	はけ	ローラー			
希 積 率	0%	0%			
標準所要量 (kg/m <sup>2</sup> /回)	0.12~0.18	0.12~0.18			
希 積 剤					

注) 標準所要量は、個々の条件によって異なります。  
標準所要量は、塗装作業に必要な使用量の数値です。

塗装間隔

		温 度	
		23℃	5℃
標準塗装間隔	最 短	4時間	16時間
	最 長	7 日	7 日
使 用 時 限		7時間	12時間

塗料性状

項 目	内 容
1 荷 姿	15kgセット ベース: 12.5kg 硬化剤: 2.5kg
2 混 合 比	ベース/硬化剤 = 5/1
3 色	白(N85近似)、透明(淡黒色透明)
4 つ や	—
5 仕 上 が り 感	—
6 塗 料 比 重	1.08(白)
7 溶 剤 比 重	0.83(白)
8 加 熱 残 分	55%(白)
9 劇 物 表 示 (品名・含有量)	—
10 労 安 法 上 の 表 示 有 害 物	ベース: キシレン 硬化剤: —
11 有 機 則 / 特 化 則	ベース: 第3種有機溶剤等 硬化剤: 第3種有機溶剤等
12 消 防 法 に よ る 危 険 物 区 分	ベース: 第4類 第2石油類(非水溶性) 硬化剤: 第4類 第2石油類(非水溶性)
13 硬 化 剤 の 成 分 に よ る 区 分	ケチミン

主な適用素材

窯業系サイディング、コンクリート・モルタル、スレート板、ALC、押出成形板、GRC板、PC板、けい酸カルシウム板、新生瓦、波形スレート、ホーロー面、磁器タイル面、硬質塩ビ、FRP板など

主な適用下塗塗料

主な適用中塗塗料

主な適用上塗塗料

アレスダイナミックMUKI、アレスダイナミックTOP、水性ゾラコートEX中塗、アレスクールプラスウォール水性Si、アレスアクアレタン、アレスアクアグロス、アレスクール水性F、アレスクール水性Si、アクアヤネシリコン、セラMフッソ、セラMレタン、アレスクール2液F、2液Si、1液Si、ヤネMシリコン、スーパーシリコンルーフなど

使用上の注意事項

- 1) モルタル・コンクリート素地のアルカリ度はpH10以下、表面含水率は10%以下(ケツ科学社製(H-2))または5%以下(ケツ科学社製HI-500シリーズ:コンクリートレンジ)まで乾燥させてください。
- 2) 塗装を行なう前には、高圧洗浄機等を用い、劣化した旧塗膜や表面の化粧層、汚れを入念に除去して下さい。その後、水分がなくなるまで1~2日程度、十分に乾燥して下さい。(特に重なり部に水分がなくなるまで乾燥させて下さい)
- 3) 濡れている場合は十分乾燥させてから塗装して下さい。乾燥が不十分で塗装するとフクレ、ハガレ、ワレなどの原因になります。
- 4) 規定の混合比でベースと硬化剤を混合し、攪拌機などを用いて内容物が均一になるように十分に攪拌してから使用して下さい。
- 5) 硬化剤を混合後、5時間(30℃)、7時間(23℃)、12時間(5℃)を過ぎた場合は使用しないで下さい。
- 6) 降雨の予想される日および外気温の低い時(5℃以下)、多湿時(85%以上)での塗装は避けて下さい。
- 7) 反応硬化系なので、塗装機器の放置は避けて下さい。使用後はラッカーシンナーで十分に洗浄して下さい。
- 8) 塗料が皮膚に付着すると、カブレを起こすことがあるので、皮膚に付かないように取り扱って下さい。
- 9) 換気の良い場所で取り扱い、容器はその都度密栓して下さい。
- 10) その他、塗料の取り扱いについての一般的な注意事項の詳細についてはSDS(安全データシート)を参照して下さい。

注) 上記の数値は標準を示すもので、若干の変動があります。

※本製品説明書の内容には、予告なくして変更することがありますのであらかじめご了承ください。